



亀中だより

No.22 令和4年9月27日 文責:岡田



For The Students!

『青春って、すごく密なので…』

久しぶりに吹奏楽の演奏も戻ってきた夏の風物詩ともいえる甲子園大会、第104回全国高校野球選手権大会が8月22日、東北勢初となる仙台育英高校の優勝で幕を閉じました。早いものであっという間に一か月がたちましたが、ご記憶の方も多いのではないのでしょうか。

そして今回は、仙台育英高校の須江航監督のインタビューも話題となりました。「青春って、すごく密なので…」というフレーズは、流行語大賞も噂されるほどです。全国の高校球児へのメッセージとして、またコロナ禍を過ごしている高校生への心温まる言葉が印象的でした。



写真:スポーツ報知より

「青春って、とても密なので…」これは中学生にも当然あてはまる言葉です。3年生はコロナ禍の始まりとともに入学し、部活動でも幾多の制限、試練を乗り越えてこれまでやってきました。また3年生に限らず、すべての生徒が、コロナ禍で“密”を避けることを求められてきました。人との距離をとりながら、どのように内面を“密”に、かかわりを作っていくか、この2学期は大きな目標としたところです。

いよいよ合唱コンクールへの取り組みも始まります。一つの合唱を作り上げるというために、学級ではいくつかの山を乗り越えなければなりません。しかし、その山を越える時に仲間として高まっていく姿をこれまでに何度も見せてもらいました。今年のみなさんが、どんな合唱を披露してくれるかもさることながら、そこへ向かう中で、どんな関係を築いていくのかも楽しみなところです。全学級、がんばってください!

須江監督の左手首にはオレンジ色の腕時計

須江監督の話題でもう一つ。左手首にひときわ目立つオレンジ色の腕時計も話題になりました。宮城大会の準決勝で仙台育英高校は仙台南高校と対戦するはずだったのですが、仙台南高校が新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、出場を辞退しました。そのため須江監督は、仙台南高校の校章のカラーでもあるオレンジ色の腕時計を身に付けることで、同校の想いを背負って試合に臨んでいたといいます。これまた心温まるエピソードですね。

